

## 事業計画（案）

＜公益1＞県民スポーツ・文化推進事業 1,071,281千円(1,021,560千円)

### 1 競技力向上

(1) 鳥取県競技力向上対策事業に基づき、本県の競技力の向上を図る。

①ジュニア育成のための競技者育成プログラム活用・実践事業  
13,299千円(12,774千円)

一貫した理念や内容で組織的・計画的に継続して強化を図るために、平成23年度に各競技団体で作成した競技者育成プログラム（強化計画）に基づき、ジュニア指導者講習会及びカテゴリ別合同練習会を開催することにより、指導者資質の向上を図るとともに、一貫指導体制の定着とトップアスリートの発掘・育成・強化へとつなげる。

※トライアスロン競技の追加

②ジュニアクラブチーム等の育成・支援事業 4,400千円(4,200千円)

特定のジュニアクラブを指定し、クラブチームの育成・活性化・大会参加等について積極的な支援を行うことにより、本県の競技水準の維持向上の基盤を確立するとともに、優秀なジュニア選手の発掘及びジュニア層の強化支援を行う。※トライアスロン競技の追加

③中学生選抜選手強化事業 7,039千円(6,775千円)

競技団体と中体連専門部が主体となり、県内の中学生から強化選手を選抜して事業を実施することにより、中長期的な選手育成と強化を図る。

※中体連全専門部に対する事業実施(17競技⇒22競技)

④高等学校運動部指定強化事業

・合宿等支援 7,080千円(6,760千円)

各高等学校における運動部活動の振興、それに伴う学校の活性化を目的にして各競技の運動部を指定し、強化合宿等支援を行う。

※A指定：34部⇒36部、B指定：4部⇒8部、C指定：43部⇒32部(27校81運動部⇒27校76運動部)

・特別指導者確保 5,103千円(5,002千円)

指定校への指導者配置への支援を行うことにより、競技力の向上を図る。

・外部指導者支援 10,326千円(8,012千円)

各高等学校における指定運動部の外部指導者に対する支援を行うことにより、競技力の向上を図る。

※A指定運動部の外部指導者謝金上限の引き上げ

⑤特別ジュニア選手指定強化事業 40,957千円(38,405千円)

各競技団体が指定する国体等強化指定選手に対して県内外の強化合宿等に要する経費を補助し、強化事業を展開することによって、国体をはじめとする各種全国大会等での成績向上を図る。

※強化区分の見直し(カヌー、セーリング、ウエイトリフティングを特別競技から1、2区分へ)

⑥指導者の育成事業 4,920千円(4,896千円)

全国トップレベルの指導者の元に派遣、又は国内外の優秀コーチを招へい訪問等行い、県内の指導者の指導力向上を図る。

※トライアスロン競技の追加

- ⑦大学部指定強化事業 600千円(600千円)  
協定により大学運動部を指定し、強化事業を実施する。  
※鳥取大学(ボート部・クライミング部)、鳥取短期大学(ソフトボール部)、鳥取環境大学(陸上競技部)、米子工業高等専門学校(ヨット部)
- ⑧社会人等選手指定強化事業 24,959千円(23,033千円)  
各競技団体が指定する国体等強化指定選手に対して県内外の強化合宿等に要する経費を補助し、集中的な強化事業を展開することによって、国体をはじめとする各種全国大会等での成績向上を図る。  
※強化区分の見直し(カヌー、セーリング、ウエイトリフティングを特別競技から1、2区分へ)
- ⑨国体成年団体競技強化事業 1,519千円(3,333千円)  
県内において高い競技力を持った社会人クラブチームを指定し、対外試合を中心とした県外遠征に対して補助を行う。  
※チアフル鳥取(バドミントン)チーム設立(平成27年度予算2,500千円)は廃止。チーム支援事業に振り替え。
- ⑩優秀選手確保事業 3,098千円(3,098千円)  
成年期の競技力向上のために、県外の優秀選手を雇用する県内企業等に補助をする。
- ⑪特別指定競技国体強化事業 22,572千円(22,454千円)  
競技を指定して、県内外の強化合宿等に要する経費を補助し、集中的な強化事業を展開することにより、国体等での成績向上を図る。  
※特別指定競技の再選定
- ⑫国体等強化備品整備 42,880千円(56,816千円)  
国体等強化備品の整備を行う。  
※ボートシングルスカル女子用・ボートダブルスカル女子用・ボートシングルスカル男子用・ボートダブルスカル男子用・陸上走り高跳び用マット・フェンシング電気審判器・ライフル射撃ビームライフル・アーチェリータイマー・相撲土俵整備・新体操スピーカー・セーリング艇輸送用トレーラー・セーリングウインドサーフィン・自転車トラックレーサー完成車(短距離用)・自転車トラックレーサールック(短距離用)・馬術競技馬・カヌーカヤックシングル・カヌーカナディアンシングル・セーリング420級ヨット・自転車パワーマックス・自転車トラックレーサー(中距離用)・弓
- ⑬強化練習用消耗品等対策事業 18,064千円(16,243千円)  
国民体育大会に参加する上で、消耗品・使用料・作曲料・運搬料等において、その特殊性を考慮し補助を行う。  
※体操競技の施設使用料増加、クレー射撃弾代の追加
- ⑭安全管理対策事業 1,799千円(1,799千円)  
国体候補選手のスポーツ安全保険への加入を補助することにより、強化事業に専念できる体制を整える。
- ⑮医・科学サポート事業 7,225千円(6,456千円)  
ア スポーツ医科学講習会等事業 5,892千円(5,111千円)  
医事・栄養・ドーピングを含むトレーナー育成関係の講習会の開催や、栄

養知識及び普及に関する講習会の開催のほか、筋力トレーニング等の充実・県内外スポーツ診療関連施設への選手派遣を行い、マルチサポート体制の充実を図る。

※県内外医療施設受診、乳酸測定器の購入、動作解析等先進地の視察等  
イ メンタルサポート事業 (toto 補助事業) 1,333 千円 (1,345 千円)  
高等教育機関と連携し、メンタル面のサポートが必要な競技を対象としたメンタルトレーニングを実施する。

⑩ (新) 公認指導者資格取得・更新補助事業 563 千円 (0 千円)

国民体育大会の監督資格要件として必要な日本体育協会公認指導者資格の取得及び更新に係る経費の 1/2 補助を実施する。

⑪ 目指せトップアスリート!! わかとりっこ育成事業 1,643 千円 (1,636 千円)

スポーツに触れる機会を提供することで、興味を持つ子どもを一人でも多く発掘し、その後のジュニア育成・強化により、選手育成を図る。

※トライアスロン競技の追加

⑫ わかとり国体開催記念スポーツ振興事業 1,516 千円 (1,516 千円)

【募集関係】

ア 情報収集活動事業

国体で入賞が期待される競技の指導者等を各種大会等へ派遣し、全国の競技力等の調査・分析を行うための経費を助成する。

イ 強化用消耗品・備品等整備事業

県の競技力向上対策事業費で措置されていない消耗品及び備品購入のための経費を競技団体に助成する。

【激励関係】

ウ オリンピック等出場選手激励事業

本県選手・本県出場選手に対し、激励金を交付する。

エ 高校部指定強化事業

県内高校の指定運動部に対して、強化を行うための活動経費を助成する。

オ 国民体育大会入賞奨励金支給事業

国民体育大会において入賞した競技 (種別) に対し報奨金を支給する。

【その他】

カ 強化推進費

鳥取県体育協会が競技力向上を推進していくために必要となる経費を助成する。

⑬ 強化推進事業 22,976 千円 (23,200 千円)

・強化推進事業費 (事務費) 1,110 千円 (2,276 千円)

競技団体との連絡・調整・指導等

※横断幕の整備完了。小旗の刷新。

・競技力向上担当者人件費 19,666 千円 (18,724 千円)

競技力向上対策事業を委託執行するための 3 名の人件費

・競技スポーツ推進費 2,200 千円 (2,200 千円)

県内外の各種大会や強化事業に出向き、競技団体との情報交換、戦力分析や競技力向上のための情報収集活動を行う。

(2) 国体予選会の開催及び国体等の選手団派遣を行う。

⑭ 国体予選会の開催 2,813 千円 (2,758 千円)

国体選手選考のための県予選会の開催を競技団体へ委託する。

※トライアスロン競技の追加

- ②中国ブロック大会及び全国予選会への選手団派 30,140 千円 (26,646 千円)  
主に岡山県で開催される国民体育大会中国ブロック大会及び西日本(予選)で  
開催予定の全国予選会へ選手団を派遣する。

期 日 平成28年5月～12月  
会 場 岡山県内の各会場等  
競技種目 水泳(水球)他35競技

- ③第71回本国会及び第72回冬季大会への選手団派遣  
67,057 千円 (54,150 千円)

- ・岩手県で開催される国民体育大会(会期前・本大会・冬季大会)に選手団を派遣する。

(本大会及び会期前)

期 日 平成28年10月1日～10月11日

(会期前実施競技は平成28年9月4日～9月11日)

競技種目 陸上競技他36競技

- ・第72回冬季大会に選手団を派遣する

(スキー競技)

期 日 平成29年2月14日～2月17日

場 所 長野県

(スケート競技)

期 日 平成29年1月27日～1月31日

場 所 長野県

(アイスホッケー競技)

期 日 平成29年1月27日～1月31日

場 所 長野県

- (3) 競技力向上のための指導者確保事業 11,485 千円 (10,920 千円)

鳥取県の競技力向上のため、優秀な指導者を確保し、指導体制の充実を図るとともに、専門性を生かしながらトップアスリートの育成を図る。

※ホッケー競技・セーリング競技

- (4) JOC競技別強化拠点(セーリング)整備等事業

チャーター艇の整備・コーチングスタッフの確保 5,549 千円 (4,856 千円)

JOC競技別強化センターとして認定を受けた境港公共マリーナにおける競技力向上のための機能や利便性の向上を図るために必要な整備を行う。

- (5) アンチ・ドーピング教育・啓発事業(日体協委託事業) 227 千円 (227 千円)

- ・指導者、選手を対象とした講習会を開催する。

- ・アンチ・ドーピングに関する啓発を行う。

## 2 生涯スポーツ推進

- ①体協表彰の実施 1,915 千円 (1,915 千円)

スポーツ振興を図るため、表彰規程に基づき本県スポーツの発展に功績のあった者、優秀な選手を育成した指導者、全国大会等で優秀な成績を挙げた選手について、選考委員会の審議により表彰者を決定し、表彰する。

期 日 平成29年2月下旬

場 所 未定

表彰内訳

体育功労章 若干名

優良団体賞 数団体

優秀指導者賞 若干名

特別賞	国際大会出場者等
スポーツ賞	全国大会等上位入賞
スポーツ敢闘賞	全国大会等下位入賞
スポーツ奨励賞	全国規模大会入賞者

②大韓民国江原道とのスポーツ交流 6,282千円(4,555千円)

本県体育協会と江原道体育会との協定(2001年11月6日協定)に基づき、両県道のスポーツ交流を行い、競技力の向上と友好親善を図る。

28年度は鳥取市で江原道選手団を受け入れる。

- ・スポーツ交流大会 3競技(ソフトテニス(男女)、バドミントン(男女)、ホッケー(女子))

期 日 平成28年12月9日～12月13日(予定)

参加者 3競技の監督、選手、体協役員等

【鳥取県－江原道スポーツ交流事業 過去交流大会】

回数	期 日	場 所	参加人数	
			鳥取県	江原道
第1回大会	平成13年11月5日～9日	春川市	24名	29名
第2回大会	平成14年6月24日～27日	米子市	43名	33名
第3回大会	平成15年11月10日～13日	束草市	34名	38名
第4回大会	平成16年7月26日～29日	大山町	40名	31名
第5回大会	平成17年7月26日～29日	江陵市	33名	37名
第6回大会	平成18年7月25日～28日	米子市	46名	37名
第7回大会	平成19年12月4日～7日	原州市	36名	43名
第8回大会	平成20年11月18日～21日	鳥取市	49名	36名
第9回大会	平成21年12月4日～8日	東海市	41名	49名
第10回大会	平成22年12月3日～7日	鳥取市	41名	35名
第11回大会	平成23年12月2日～6日	春川市	38名	38名
第12回大会	平成24年11月30日～12月4日	米子市	56名	37名
第13回大会	平成25年11月29日～12月3日	春川市	42名	47名
第14回大会	平成26年11月28日～12月2日	米子市	57名	41名
第15回大会	平成27年12月11日～12月15日	原州市	40名	39名

③第17回県民スポーツ・レクリエーション祭の開催(県共催事業)

7,878千円(7,920千円)

広く県民にスポーツ・レクリエーション活動を全県的な規模で実践する場を供することにより、県民一人一人に参加意欲を喚起し、県内各地で生涯を通じたスポーツ・レクリエーション活動の活性化を進める。

- ・夏季大会 3種目

期 日 平成28年8月29日～30日

会 場 西部地区中心に全県で開催

- ・秋季大会 32種目

期 日 平成28年10月24日～25日

会 場 西部地区中心に全県で開催

- ・冬季大会 4種目

期 日 平成29年2月14日

会 場 西部地区中心に全県で開催

④公認スポーツ指導者養成講習会の開催(日体協委託事業)838千円(1,302千円)

- ・指導員養成講習会 1競技(バレーボール競技 予定)

- ・上級指導員養成講習会 1競技(未定)

- ⑤公認スポーツ指導者研修会の開催（日体協委託事業）662千円（847千円）
  - ・スポーツ指導者研修会の開催 年2回
- ⑥総合型地域スポーツクラブ育成支援事業 60千円（60千円）
  - ・未育成市町村への総合型地域スポーツクラブ設立に向けた普及・啓発活動
  - ・育成指定クラブ連絡協議会等への活動旅費
  - ・東中西各地区交流会への活動旅費
- ⑦スポーツ少年団の育成（日体協助成事業等） 2,299千円（2,370千円）
  - ・スポーツリーダー養成講習会兼スポーツ少年団認定員養成講習会の開催 年1回
  - ・シニアリーダースクール・全国少年大会への派遣
  - ・組織整備強化事業の実施
- ⑧スポーツ安全保険業務 4,448千円（4,468千円）

公益財団法人スポーツ安全協会鳥取県支部と業務及び経費について協定を交わし、スポーツ安全保険業務を行う。

〔以下 施設基金実施事業〕

- ⑨因幡・但馬ジオパーク地域スポーツ交流事業 341千円（341千円）

兵庫県但馬地区と鳥取県因幡地区の小学生・中学生による陸上競技の交流を目的とした対抗選手権大会の開催経費補助。
- ⑩サッカースクール 859千円（795千円）

布勢総合運動公園において、元Jリーグ監督等を講師として、小学生を対象としたサッカー教室及びミニゲームを開催。

  - ・参加者：小学生100名
- ⑪ガイナレ鳥取支援事業 301千円（501千円）

ガイナレ鳥取に対し、県体協としても可能な支援を行い、本県スポーツの充実に資するとともに地域活性化に寄与する。
- ⑫布勢スプリント開催事業 601千円（601千円）

布勢総合運動公園において開催される「布勢リレーカーニバル兼スプリント挑戦記録会IN TOTTORI」に各種目のトップアスリートを招待することにより、子どもたちに夢や感動を提供することに寄与する。

  - ・招待選手：調整中
- ⑬野球教室開催事業 1,599千円（848千円）

布勢総合運動公園において、元プロ野球選手及び一流の指導者を講師として、中学生を対象とした野球教室を開催。
- ⑭（新）鳥取県体育協会史編集事業 2,000千円（0千円）

鳥取県体育協会の歴史を後世に残していくため、鳥取県体育協会史の発刊を行う。

  - ・発刊：平成31年度を予定
- ⑮（新）備品購入事業 631千円（0千円）

県民スポーツ・文化推進事業を円滑に行えるよう、備品の整備を行う。

  - ・公用車（軽自動車）の購入

### 3 体育施設管理・運営 629,878 千円 (627,462 千円)

鳥取県及び米子市から指定管理者に指名された体育施設の有効な活用と適正な管理運営を行い、県民の体力増強とスポーツ振興を図る。

	布勢総合運動公園	鳥取産業体育館 鳥取屋内プール	皆生市民プール	米子産業体育館	武道館	合計
利用予定 人員	633,000 人 (622,000 人)	体 81,500 人 (81,000 人) プ 67,000 人 (67,000 人)	85,000 人 (56,000 人)	146,000 人 (144,000 人)	110,000 人 (110,000 人)	1,122,500 人 (1,080,000 人)
利用収入 等金額	49,367 千円 (49,177 千円)	31,770 千円 (31,470 千円)	20,795 千円 (16,555 千円)	29,990 千円 (29,301 千円)	9,474 千円 (9,474 千円)	141,366 千円 (135,977 千円)
※収益 2 の収益	6,077 千円 (6,495 千円)	1,534 千円 (1,593 千円)	520 千円 (721 千円)	850 千円 (971 千円)	1,716 千円 (1,866 千円)	10,697 千円 (11,646 千円)
支 出	329,250 千円 (329,478 千円)	94,830 千円 (94,524 千円)	67,103 千円 (67,642 千円)	61,616 千円 (59,052 千円)	77,079 千円 (76,766 千円)	629,878 千円 (627,462 千円)
県委託料	273,806 千円 (273,806 千円)	61,526 千円 (61,461 千円)	0 千円 (50,366 千円)	30,776 千円 (28,780 千円)	65,889 千円 (65,426 千円)	431,997 千円 (429,473 千円)
米子市委 託料	—	—	45,788 千円 (0 千円)			45,788 千円 (0 千円)
スポーツ 教室	【陸上】 陸上教室 I 他 10 教室  【体育館】 卓球初級教室 他 20 教室	【体育館】 バドミントン他 9 教室  【プール】 幼児水泳教室他 15 教室	【プール】 幼児水泳教室他 22 教室  【トレーニングホール】 バドミントン初級教室 他 19 教室	【年間教室】 体操・体育 (幼児コース) 他 17 教室  【短期教室】 バドミントン (一般) 教室 他 2 教室	空手教室 弓道教室 柔道教室 剣道教室 他 5 教室	
イベント	・グラウンドゴルフ大会 ・ピンポン大会 ・サッカー大会 ・緑の感謝祭 他 7 イベント	・グラウンドゴルフ大会 ・小学生卓球大会 ・新春初泳ぎ ・泳力検定 他 8 イベント	・トップアスリート招聘 ・泳力測定会 ・水上バイク乗船体験 ・水中大運動会 他 8 イベント	・親善バドミントン大会 ・親善バウンドテニス大 会 ・親子ふれあいフェステ イバル	・小学生武道大会 ・高校生武道大会 ・地方青少年錬成大会 他 2 イベント	

( ) 内は前年度数字

### 4 繰越明許費

布勢陸上競技場・電光掲示板整備事業 50,880 千円 (33,920 千円)

布勢陸上競技場の電光掲示板をアナウンス用テロップ表示、要約筆記などに使える字幕システムや手話の映像を直接に映像として流すなど、聴覚障がい者対応の掲示板として機能の充実を図る。

<収益 1> 施設関連事業 69,270 千円 (347,438 千円)

1 体育施設の有効な活用と適正な管理運営を行い、県民の体力増強とスポーツ振興を図る。

(1) 倉吉体育文化会館の管理運営 62,961 千円 (62,010 千円)

事業計画	
	倉吉体育文化会館
利用予定人員	184,000 人 (183,000 人)
利用収入等金額	19,110 千円 (18,810 千円)
支出	62,961 千円 (62,010 千円)
県委託料	43,851 千円 (43,200 千円)
スポーツ教室	バドミントン他 13 教室
文化教室	おりがみ教室他 8 教室
イベント	【スポーツイベント】 月例バドミントン大会他 7 イベント 【文化イベント】 夏休み文化教室他 2 イベント

( ) 内は前年度数字

(2) 倉吉自転車競技場の管理運営 6,309 千円 (285,428 千円)

- ・倉吉自転車競技場の管理運営を特定非営利活動法人たかしろに委託する。
- ・その他事務費



<収益 2> 自動販売機設置事業 17,805 千円 (17,845 千円)

本会が管理する公の施設に、利用者の利便性の向上を図るため自動販売機を設置し、自動販売機手数料による収益事業を実施する。

	布勢総合運動公園	鳥取産業体育館 鳥取屋内プール	皆生市民プール	米子産業体育館	武道館	合計
収入	9,705 千円 (9,595 千円)	2,500 千円 (2,500 千円)	1,100 千円 (1,250 千円)	1,500 千円 (1,500 千円)	3,000 千円 (3,000 千円)	17,805 千円 (17,845 千円)
支出	3,628 千円 (3,100 千円)	966 千円 (907 千円)	580 千円 (529 千円)	650 千円 (529 千円)	1,284 千円 (1,134 千円)	7,108 千円 (6,199 千円)
収益	6,077 千円 (6,495 千円)	1,534 千円 (1,593 千円)	520 千円 (721 千円)	850 千円 (971 千円)	1,716 千円 (1,866 千円)	10,697 千円 (11,646 千円)

( ) 内は前年度数字

平成28年度収支予算書(案)  
平成28年4月1日から平成29年3月31日

(単位:千円)

	公益目的事業		収益事業等		法人会計	合計
	公益1 (県民スポーツ・ 文化推進事業)	収益1 (施設関連事業)	収益2 (自動販売機設置 事業)	小計		
I 一般正味財産増減の部						
1 経常増減の部						
(1) 経常収入						
基本財産運用益	0	0	0	0	1	1
基本財産受取利息	0	0	0	0	1	1
特定資産運用益	6,658	0	0	0	508	7,166
特定資産受取資産	0	0	0	0	0	0
特定資産運用益	6,658	0	0	0	508	7,166
受取会費	450	0	0	0	4,004	4,454
賛助会員受取会費	0	0	0	0	0	0
受取会費	450	0	0	0	4,004	4,454
事業収益	139,832	16,990	0	16,990	0	156,822
施設使用料収益	102,505	15,450	0	15,450		117,955
教室参加料収益	32,165	760	0	760		32,925
イベント収益	5,162	780	0	780		5,942
受取補助金等	853,535	66,720	0	66,720	107,100	1,027,355
受取地方公共団体補助金	28,127	6,193	0	6,193	107,100	141,420
その他委託料	6,258	0	0	0		6,258
県委託料	771,696	43,851	0	43,851		815,547
市委託料	45,788	0	0	0		45,788
受取民間助成金	1,272	0	0	0		1,272
受取補助金等振替額	394	16,676	0	16,676		17,070
受取負担金	7,428	0	0	0	0	7,428
受取負担金	7,428	0	0	0		7,428
受取寄付金	0	0	0	0	0	0
受取寄付金	0	0	0	0		0
雑収益	1,564	2,236	17,805	20,041	120	21,725
受取利息	0	0	0	0		0
雑収益	1,564	236	0	236	120	1,920
自販機手数料	0	2,000	17,805	19,805		19,805
経常収益計	1,009,467	85,946	17,805	103,751	111,733	1,224,951
(2) 経常費用						
事業費						
給料手当	156,535	19,895	0	19,895		176,430
賃金	10,779	1,631	0	1,631		12,410
福利厚生費	42,067	5,821	0	5,821		47,888
役員報酬	3,154	80	0	80		3,234
職員手当	68,952	8,991	0	8,991		77,943
旅費交通費	98,178	71	0	71		98,249
通信運搬費	2,738	216	0	216		2,954
減価償却費	1,848	16,835	0	16,835		18,683
消耗品費	18,548	527	0	527		19,075
修繕費	17,526	1,028	0	1,028		18,554
印刷製本費	4,550	470	0	470		5,020
燃料費	26,047	1,560	0	1,560		27,607
光熱水料費	102,474	14,018	6,126	20,144		122,618
賃借料	5,654	331	0	331		5,985
保険料	3,433	252	0	252		3,685
租税公課	14,987	2,240	982	3,222		18,209
報償費	9,299	23	0	23		9,322
食糧費	1,663	17	0	17		1,680
手数料	6,602	215	0	215		6,817
委託料	198,410	11,481	0	11,481		209,891
交際費	70	0	0	0		70
負担金補助	226,884	47	0	47		226,931
広告費	30	223	0	223		253
備品購入費	195	0	0	0		195
事業費計	1,020,623	85,972	7,108	93,080		1,113,703
管理費						
役員報酬					6,070	6,070
給料手当					52,558	52,558
福利厚生費					16,055	16,055
賃金					505	505
職員手当					25,158	25,158
旅費交通費					2,574	2,574
通信運搬費					802	802
減価償却費					159	159
消耗品費					750	750
印刷製本費					900	900
燃料費					469	469
光熱水料費					446	446
賃借料					2,956	2,956
保険料					706	706
租税公課					121	121
報償費					1	1
食糧費					140	140
手数料					400	400
交際費					100	100
委託料					220	220
負担金補助					571	571
広告費					3	3
修繕費					95	95
管理費計					111,759	111,759
経常費用計	1,020,623	85,972	7,108	93,080	111,759	1,225,462
当期経常増減額	△ 11,156	△ 26	10,697	10,671	△ 26	△ 511
2 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0		0
(2) 経常外費用						
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	698	△ 698	0	△ 698	0	0
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 10,458	△ 724	10,697	9,973	△ 26	△ 511
一般正味財産期首残高	14,075	16,980	12,068	29,048	8,914	52,037
一般正味財産期末残高	3,617	16,256	22,765	39,021	8,888	51,526
II 指定正味財産増減の部						
受取補助金等	51,511	0	0	0	0	51,511
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	△ 394	△ 16,676	0	△ 16,676		△ 17,070
当期指定正味財産増減額	51,117	△ 16,676	0	△ 16,676	0	34,441
指定正味財産期首残高	860,671	297,151	0	297,151	59,259	1,217,081
指定正味財産期末残高	911,788	280,475	0	280,475	59,259	1,251,522
III 正味財産期末残高	915,405	296,731	22,765	319,496	68,147	1,303,048